



2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社Speee
 コード番号 4499 URL <https://speee.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大塚 英樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 西田 正孝 TEL 050 (1748) 0088
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績（2024年10月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		EBITDA		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	12,321	5.9	△326	—	△308	—	△228	—	△489	—
2024年9月期第3四半期	11,631	16.7	90	△87.4	133	△82.5	224	△73.4	△27	—

(注) 包括利益 2025年9月期第3四半期 △489百万円 (—%) 2024年9月期第3四半期 △27百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	△44.12	—
2024年9月期第3四半期	△2.61	—

- (注) 1. EBITDA=税金等調整前四半期純利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費
 2. 2024年9月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。
 3. 2025年9月期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	15,703	7,750	49.3
2024年9月期	10,116	5,417	53.5

(参考) 自己資本 2025年9月期第3四半期 7,748百万円 2024年9月期 5,415百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,350	4.0	△750	—	△736	—	△878	—	△78.38

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 業績予想の修正につきましては、本日（2025年8月14日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期3Q	11,494,750株	2024年9月期	10,676,100株
② 期末自己株式数	2025年9月期3Q	10,546株	2024年9月期	4,846株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年9月期3Q	11,105,779株	2024年9月期3Q	10,635,852株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは「解き尽くす。未来を引きよせる。」をミッションとし、創業以来培ってきた、データ分析能力とテクノロジーを活かして、多様な産業領域のデジタルトランスフォーメーションを推進しております。

具体的には、デジタル化が進んでこなかった市場において生活者（消費者）と事業者を、デジタル化を通じて最適な形でマッチングすることを目指すレガシー産業DX事業、データの利活用によって企業のマーケティングを高度化することを目指すDXコンサルティング事業及びステーブルコインの早期実用化を目指す金融DX事業を運営しております。

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス拡大による社会経済活動の制約が解消され、国内経済は徐々に持ち直しが期待されております。一方、世界的な情勢不安や物価上昇などにより国内外の経済的な見通しは不透明な状況が続いております。当社グループを取り巻く事業環境においては、多くの企業におけるDXを活用した業務改善などが活発化した影響もあり、当社サービスに対するニーズが高まりました。ビジネスにおける営業及びコンサルティング活動のオンライン化が定着したことにより事業機会が拡大しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高12,321,594千円（前年同期比5.9%増）、営業損失326,650千円（前年同期は営業利益90,048千円）、経常損失308,893千円（前年同期は経常利益133,256千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失489,993千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失27,711千円）となりました。

なお、当社グループでは、事業基盤の強化や拡大を積極的に目指していく中、各国の会計基準の差異にとらわれことなく企業比較が可能なEBITDA（税金等調整前四半期純利益＋支払利息＋減価償却費＋のれん償却費）を経営指標として重視しており、当第3四半期連結累計期間のEBITDAはマイナス228,313千円（前年同期はEBITDA224,244千円）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

また、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

①レガシー産業DX事業

レガシー産業DX事業は、デジタル化が進んでこなかった市場において、デジタル化を通じて生活者（消費者）と事業者を最適な形でマッチングすることを目指しており、「イエウール」「ヌリカエ」「ケアスル 介護」が属しております。

営業活動が堅調であることに加え、自社サービスの拡充及び提携先メディア等とのアライアンスの強化を行った結果、加盟業者数、ユーザ数ともに増加しております。また今後の持続的な成長のため、各領域における新規事業（サービス）の展開へ向けて、ソフトウェア開発等に関する投資を強化しております。

この結果、売上高は8,457,593千円（前年同期比3.1%増）、セグメント利益は769,070千円（前年同期比7.8%増）となりました。

②DXコンサルティング事業

DXコンサルティング事業は、顧客企業のデータ資産を利活用し、マーケティング活動を高度化することに加え、DX化を総合的に支援するコンサルティングサービスを提供しております。顧客企業におけるデジタルマーケティングの強化及びデータ活用意欲の高まりにより、案件獲得が堅調に推移しました。

この結果、売上高は3,864,000千円（前年同期比12.6%増）、セグメント利益は1,457,216千円（前年同期比5.3%増）となりました。

③金融DX事業

金融DX事業には、「Data Platform事業」が属しており、ステーブルコインの早期実用化を目指すなかで、ステーブルコイン等デジタルアセット関連のプロダクト開発のために積極的な開発投資を進めてまいりました。株式会社Progmtと共同でクロスボーダーステーブルコイン送金基盤構築プロジェクト「Project Pax」を始動させ、国内外金融機関との実証実験を開始しており、ステーブルコインを活用することで、高速かつ安価で24時間365日稼働可能なクロスボーダー送金の実現を目指します。

この結果、売上高は一千円（前年同期は300千円の売上）、セグメント損失は851,536千円（前年同四半期は303,376千円のセグメント損失）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は13,900,554千円となり、前連結会計年度末に比べ5,533,404千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が5,119,370千円増加したことによるものであります。固定資産は1,802,660千円となり、前連結会計年度末に比べ53,523千円増加いたしました。これは主に、ソフトウェア仮勘定が61,344千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、15,703,215千円となり、前連結会計年度末に比べ5,586,927千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,305,653千円となり、前連結会計年度末に比べ855,715千円増加いたしました。これは主に、1年以内返済予定の長期借入金が517,496千円増加したことによるものであります。固定負債は3,647,162千円となり、前連結会計年度末に比べ2,398,563千円増加いたしました。これは主に、長期借入金が2,704,429千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、7,952,815千円となり、前連結会計年度末に比べ3,254,279千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は7,750,399千円となり、前連結会計年度末に比べ2,332,648千円増加いたしました。これは主に、資本金が1,411,816千円、資本剰余金が1,411,816千円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は49.3%（前連結会計年度末は53.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2024年11月14日に公表いたしました2025年9月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2025年8月14日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,988,577	10,107,948
受取手形及び売掛金	3,006,932	3,011,660
その他	441,373	849,229
貸倒引当金	△69,733	△68,283
流動資産合計	8,367,149	13,900,554
固定資産		
有形固定資産	388,680	376,247
無形固定資産		
ソフトウェア	85,812	55,006
ソフトウェア仮勘定	37,458	98,803
その他	1,113	2,089
無形固定資産合計	124,384	155,899
投資その他の資産	1,236,072	1,270,512
固定資産合計	1,749,137	1,802,660
資産合計	10,116,287	15,703,215
負債の部		
流動負債		
買掛金	445,208	572,660
1年内返済予定の長期借入金	1,003,063	1,520,559
未払金	797,599	1,218,561
未払費用	235,561	373,249
未払法人税等	267,524	169,618
賞与引当金	329,558	170,245
その他	371,421	280,759
流動負債合計	3,449,937	4,305,653
固定負債		
長期借入金	699,999	3,404,428
資産除去債務	167,603	168,539
賞与引当金	14,659	11,913
その他	366,336	62,281
固定負債合計	1,248,598	3,647,162
負債合計	4,698,536	7,952,815
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,488,813	2,900,629
資本剰余金	1,528,823	2,940,639
利益剰余金	2,398,573	1,908,580
自己株式	△722	△1,712
株主資本合計	5,415,488	7,748,136
新株予約権	2,263	2,263
純資産合計	5,417,751	7,750,399
負債純資産合計	10,116,287	15,703,215

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上高	11,631,913	12,321,594
売上原価	1,966,926	2,557,261
売上総利益	9,664,987	9,764,332
販売費及び一般管理費	9,574,938	10,090,983
営業利益又は営業損失(△)	90,048	△326,650
営業外収益		
受取手数料	46,851	22,261
その他	5,573	19,050
営業外収益合計	52,425	41,312
営業外費用		
支払利息	6,306	5,767
投資有価証券評価損	774	-
投資事業組合運用損	1,508	3,473
匿名組合投資損失	569	-
株式交付費	-	14,315
その他	59	-
営業外費用合計	9,217	23,555
経常利益又は経常損失(△)	133,256	△308,893
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	133,256	△308,893
法人税、住民税及び事業税	74,240	103,734
法人税等調整額	86,727	77,365
法人税等合計	160,968	181,099
四半期純損失(△)	△27,711	△489,993
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△27,711	△489,993

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
四半期純損失(△)	△27,711	△489,993
四半期包括利益	△27,711	△489,993
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27,711	△489,993

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年1月29日付で公募増資の払込を受け、資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,082,250千円増加しました。

また、2025年2月27日付でオーバーアロットメント方式の第三者割当増資の払込を受け、資本金及び資本剰余金がそれぞれ181,485千円増加しました。

さらに、譲渡制限付株式報酬としての新株発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ148,081千円増加しております。

結果として、当第3四半期連結会計期間末において資本金が2,900,629千円、資本剰余金が2,940,639千円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	84,681千円	74,812千円

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	レガシー産業DX	DXコンサルティング	金融DX	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,201,002	3,430,611	300	11,631,913	—	11,631,913
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	16,854	—	16,854	△16,854	—
計	8,201,002	3,447,466	300	11,648,768	△16,854	11,631,913
セグメント利益 又は損失(△)	713,199	1,383,820	△303,376	1,793,643	△1,703,594	90,048

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,703,594千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	レガシー産業DX	DXコンサルティング	金融DX	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,457,593	3,864,000	—	12,321,594	—	12,321,594
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	8,600	—	8,600	△8,600	—
計	8,457,593	3,872,600	—	12,330,194	△8,600	12,321,594
セグメント利益 又は損失(△)	769,070	1,457,216	△851,536	1,374,750	△1,701,400	△326,650

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,701,400千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。